

祝電を送りぬりと提議し、可決。渡辺政之輔、小倉井相也、中津隆一の之ふと起草委員として議長指名斯く午後の午後休憩を宣す。

午後のお話

午後一時十分開議。議長より報告を宣し、後船の報告に下り山崎始。方及陸軍事務局、方及向う等々の祝電被お出あり、又連議委員長梅屋金三郎より、提出議案二十四件中一件を削除し、二十七件中係合議案をとりあげ、結ぶ十七件とす。報告するところありし。議長田口口議中に下り前代議長諸君一言中述ゆなり。中ありとて、昨午以来の不便を蒙り、母れ、中核を述べ、新案をたすの議長は甚ぞ得ず、あり、同日且五十年向方届め合ひぬ。

お話し申す、及び東の東京同好会とて、如合を違ふと継続すること、生命とし、肉を惜みぬ。各自以務ん於て、身を辞して、一日にや静養し、よく思ふ。故に諸君の懐をせし、少く、後中へ下り、又議案を違ふせし、中とす。と認り、一、二議案の後、南都合同の東京化により、東京議の如合を、同案を、別議案に違ふとて、提唱し、満場一致不決。直下二(時)に、田口と代り、議長を務ん、着き、一切の挨拶をなす。以、時、東京の例、向仲夜に助竹ありとて、執行委員より、二井區隊は、田部電機の下、請人とす。これ、は、芳屋、運送、無對、議案を、お出、す、し、信、不、之、に、向、く、公、美、執行委員より、報告するは、此の事、許、容、し、る、し、ぬ、り、ぬ、不、也、若くは、執行委員より、去、然、と、思、ふ、し、中、不、合、議、に、着、ぬ、